

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名 新 警察広報充実費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 総務室 広報県民課 電話番号：058-271-2424 (内 2161)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,000 千円 (現計予算額： ー 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補正 要求額	5,000	0	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額	3,015	3,015	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症対策によりほとんどの広報活動に資する活動が中止、縮小されており、十分な広報啓発活動が行えていない状況である。

これまでは、集客を前提とした対面による広報活動を主に行う中で、リモート社会に対応した広報活動を構築することが喫緊の課題となっており、デジタル社会に即した広報素材により、アフターコロナ社会を見据えた広報啓発活動を行っていく必要がある。

デジタル広報素材の作成に当たっては、視聴者の関心を惹きつける効果的な表現方法等の技術が欠かせないことから専門家により制作することが不可欠である。

(2) 事業内容

- ・ 広報用動画の作成

「情報モラル啓発」、「交通安全啓発」を主題としたデジタル広報素材

(動画)を作成。各種広報活動を通じて、県民の安全・安心に直結する広報啓発活動の情報発信を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県警察の活動に対する理解と協力を確保するため、広く県民に情報を提供する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,000	動画作成業務委託
合計	5,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 安全で安心な社会の実現のために、デジタル動画を作成し、警察活動の実態や諸施策を広く県民に正しく知らせ、かつ、安全確保に資する情報を提供することによって、警察への理解と協力を確保し県民の安全と安心を守る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	() ()	()	(H)	%
	(H)	() ()	()	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

警察への理解と協力を数値等の指標で示すことは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（1）こどもけいさつ体験シリーズの実施

- ・こどもけいさつ絵画コンクール 154校 3,883点の応募
- ・夏休みこどもけいさつフェスティバル
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（2）警察音楽隊の活動

- ・第25回岐阜県警察音楽隊定期演奏会
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（前年度の成果）

広報紙、マスコットグッズ等を作成し県民に広報した結果、警察への理解と協力を確保し、犯罪や交通事故の抑止に寄与している。こどもけいさつ体験シリーズや警察音楽隊の演奏活動を実施し、県民と警察のふれあいを深めるとともに、明るく開かれた警察の姿をアピールして警察活動への理解を得ている。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	安全で安心な社会の実現のため、広報等による警察活動に対する県民の理解と協力の確保は欠くことのできないものであることから、必要性は高い。
○	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	デジタルによる広報素材は、視聴者の関心を惹きやすく、音と映像のため子どもからお年寄りまで幅広く広報啓発活動するのに適しており事業効果は有効である。
○	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	動画を再生する環境さえあればあらゆる機会を通じて活用できることから効率的な警察広報を図れるとともに、事業内容の見直しを行うなど効率化にも努めている。
○	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 多種多様化するネットメディアの理解とその活用方法を検討し、効果的で積極的な広報を行っていく。 インターネット環境の無い県民への情報発信もアフターコロナを踏まえて検討していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 作成した広報素材をこどもけいさつ体験シリーズ、警察音楽隊活動（定期演奏会等）、一般広報等のあらゆる場での活用を図り、県民の安全・安心に直結する情報発信を各種広報媒体を活用して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【 課 】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	